

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 障害の理解 I		授業の種類 (講義)・演習・実習)		授業担当者 岡村 展郎	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30 時間 (2)	配当学年・時期 1年 前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>障害のある人たちの生活理解を深めるための、障害者（児）福祉の基礎的知識を理解させることをねらいとする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>障害の概念・障害者福祉理念の理解・障害者福祉の歴史（発展）・地域における連携と協働・家族支援を概説する。</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>障害のある人や子どもの生活実態を、法的定義や障害のとらえ方から学び、地域の中で自分らしく生活を送ることを実現するためには、どのような社会資源の活用が必要かを考えることができる。</p>					
<p>[授業のテーマ・内容]</p> <p><u>障害の基礎的理解</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障害の概念 障害のとらえ方 2 I C I D Hから I C Fへ 3 障害者福祉の基本理念① ノーマライゼーションの理念とは 4 障害者福祉の基本理念② ノーマライゼーションの理念の展開 5 障害者福祉の基本理念③ ノーマライゼーションの理念の発展（インクルージョン） 6 障害の概念（法的定義）① 7 障害の概念（法的定義）② 8 障害の概念（法的定義）③ 9 障害者福祉の発展① 10 障害者福祉の発展② 11 障害者福祉の発展③ <p><u>連携と協働</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 12 障害のある人に対する地域におけるサポート体制 13 他の福祉職・保健医療職との連携 14 <u>家族への支援</u>…家族の介護力評価・家族のレスパイトなど 15 まとめと試験 					
[使用テキスト・参考文献] 最新介護福祉士養成講座 障害の理解		中央法規		[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) 試験80%出席10%レポート10%	